

# 赤松 林太郎

レクチャーコンサートシリーズ  
— 虹のように —

## 第4回 秋のソナタ ～ ブラームスの見た景色 ～



RINTARO AKAMATSU



Photo/Ono Shino

### オール・ブラームス・プログラム

- ・主題と変奏ニ短調Op.186(弦楽六重奏曲第1番第2楽章)
- ・クラリネットソナタ第1番Op.120-1
- ・間奏曲Op.117-1
- ・クラリネットソナタ第2番Op.120-2



TARAS DEMCHYSHYN

ゲスト/タラス・デムチシン(クラリネット)

2019 **8/10** (土) 2回公演 14:00～ 13:30開場 18:00～ 17:30開場

会場 **sala arietta**(サーラ アリエッタ)

前売りチケット

全席自由 ¥3,000(当日+¥500)



主催/arietta 特別協賛/のまさ小児科

後援/一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会・洗足学園音楽大学・大阪音楽大学・中津An die Musik・スマイルプロジェクト

《お申込み・お問合せ》arietta ☎ 0979-24-7126 携帯 090-2501-8001(武本)《チケット取扱い》arietta・シマザワ楽器・中津文化会館



## 赤松 林太郎/Akamatsu, Rintaro

1978年生まれ。2歳よりピアノとヴァイオリンを、6歳よりチェロを始める。幼少より活動を始め、5歳の時に小曾根実氏や芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10歳の時には自作カデンツァでモーツァルトの協奏曲を演奏。1990年全日本学生音楽コンクールで優勝して以来、国内の主要なコンクールで優勝を重ねる。1993年仙台市教育委員会より平成5年度の教育功績者に表彰。1996年第1回浜松国際ピアノアカデミーに参加。2000年にクララ・シューマン国際ピアノコンクール(審査員にはマルタ・アルゲリッチやネルソン・フレイレなど)で第3位を受賞した際、Dr.ヨアヒム・カイザーより「聡明かつ才能がある」と評された。その後の国際コンクールでの受賞は10以上に及ぶ。

神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得(室内楽は全審査員満点による)。ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジョルジュ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をニーナ・パタルチェツ、クリスチャン・イヴァルディ、音楽学を岡田暁生の各氏に師事。

国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、台湾、コロンビアを公演で回る。2016年よりハンガリーのダヌビア・タレント国際音楽コンクールの審査員長を務める。2015年に引き続き2017年ドナウ交響楽団と再演、ヴァーツのダヌビア・タレント音楽祭(ハンガリー)にも招聘される。2018年は台北、ケチケメート春の音楽祭(ハンガリー)、シャビア市国際ピアノコンクール(スペイン)の審査員、WPTA Spain(世界ピアノ指導者協会スペイン支部)のマスタークラス、ダヌビア・タレント・リスト国際音楽コンクール(イタリア)の審査員にも招かれている。

これまでに新田ユリ、手塚幸紀、堤俊作、西本智実、山下一史、デアーク・アンドラーシュの指揮のもと、東京交響楽団やロイヤルメトロポリタンオーケストラ、ロイヤルチェンバーオーケストラ、ドナウ交響楽団などと共演。NHK交響楽団や東京フィルハーモニー管弦楽団などのメンバーと室内楽も行い、多くの音源(YouTube)に残している。キングインターナショナルから《ふたりのドメニコ》《ピアノの天使》《そして鐘は鳴る》《インヴェンションへのオマージュ》をリリースして各誌で絶賛される。1,000名以上の指導に携わり、国内外の主要なコンクールで多くの受賞者を輩出している(PITNA特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝、多数の国際コンクール他)。審査員やマスタークラスの講師はもちろん、エッセイストとして新聞や雑誌にも連載を持っており、新刊として『赤松林太郎 虹のように』を出版(道と書院、2016年)。「美しいキモノ」にたびたび出演・掲載されている。

現在は、全日本ピアノ指導者協会評議員、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授、札幌大谷中学校・高等学校音楽科特別講師、カシオ計算機株式会社アンバサダー。



## タラス デムチシン/Taras Demchyshyn

1984年、ウクライナ出身。

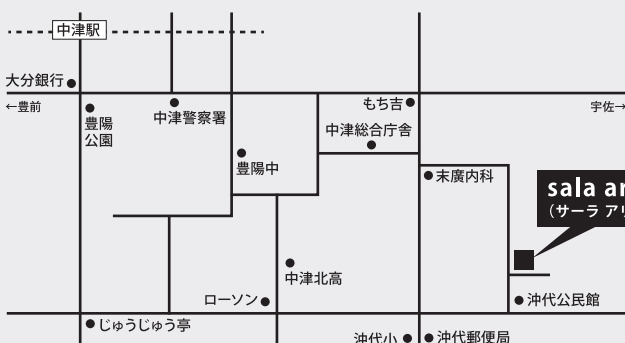
2018年 ウィーン Dichler指揮者コンクール第一位。2007-2018九州交響楽団首席クラリネット奏者。ミコーラ・リーセンコ音楽大学、ハンス・アイスラー音楽大学を首席で卒業。ARD国際音楽コンクール出場、第12回大阪国際音楽コンクール木管楽器部門グランプリ他、多数のコンクールで受賞。これまでに九州交響楽団等とアラン・ブリバエフ、ゴロー・ベルク、下野竜也、レオン・シュピラー各氏のもと、ウェーバー、コーブランド、モーツァルトの協奏曲をソリストとして共演。またゲスト首席奏者として新日本フィルハーモニー交響楽団に招かれる。

2018年よりヨハネス・ヴィルトナー(ウィーン)、2008年より下野竜也、秋山和慶、山下一史各氏のもとで指揮を学び、2013年より上野学園にて下野竜也、大河内雅彦各氏に師事する。2014年12月にBeethoven Sinfoniettaを立ち上げて以降、同楽団でベートーヴェンをはじめ、モーツァルト、ハイドン、ウェーバー等に取り組み。2010年にチャイコフスキーの交響曲第5番で指揮者デビュー。

コジマ録音から「ドゥレクリューズ:古典・現代作品の主題による14の大練習曲」、「マンハイム宮廷の栄華〜シュターミッツの管弦楽〜」、カスタム・ウィンズ木管五重奏で「アゴラ」、2017年にはBeethoven Sinfoniettaで初のCD『Love,love,love,that is the soul of genius』を発売。

ヤマハ・オフィシャルクラリネットアーティスト、カスタム・ウィンズ木管五重奏団、Aqua Trioメンバー、Beethoven Sinfoniettaチーフコンダクター。

Beethoven Sinfoniettaでモーツァルト「レクイエム」とベートーヴェン「第九」を一夜で演奏するなど、指揮者、ソリストとして福岡を拠点に精力的に活動を展開する。



開催場所

sala arietta (サーラアリエッタ)

中津市沖代町1-6-60

sala arietta ご来場の方へお願い

住宅街につき駐車場には限りがございます。  
できる限り乗り合わせてご来場頂きますようお願い致します。